

茨城県の医療施設の現況

——— 病院数は全国22位，病床数は37位 ———

● 病 院

医療圏別配置

区 分	病 院 数			人口10万人あたり	病 床 数			人口10万人あたり	備 考
	一 般	精 神	計		一 般	精 神	計		
水戸医療圏	74	4	78	9.0	7,242	1,596	8,838	1,069.8	全国10万人あたり ● 病院数 7.5 ● 病床数 1,322.6
日立医療圏	34	5	39	9.4	3,514	1,447	4,961	1,374.3	
鹿行南部医療圏	14	1	15	7.2	1,790	264	2,054	1,058.1	
土浦・つくば医療圏	72	12	84	6.2	9,145	3,604	12,749	1,094.8	
下館・岩瀬医療圏	16	1	17	7.2	2,090	431	2,521	1,128.5	
古河・総和医療圏	15	1	16	7.5	1,293	1,108	2,401	1,202.7	
計	225	24	249	7.6	25,074	8,450	33,524	1,128.0	

：一般病床には結核，伝染病床を含む。

平成8年「医療施設調査」

● 本県の特徴

- 1,000床以上のいわゆる大病院がない状況にある。
- 病院数（全国22位）に比較して，病床数（全国37位）が少ない状況にある。
- 地域的に専門的医療，救急医療等の中核となる病院のない医療圏がある。
- 自治体病院等が少ない状況にある。
 本 県 29個所／290万人＝1個所／10万人
 全 国 1,767個所／12,500万人＝1.4個所／10万人

● 原 因

- 医療施設は，昭和20年から30年代は，国・自治体立が主流を占めており，30年代後半から40年代以降は，医療法人，個人による自由開業が主流であり，不採算地域では，市町村，国保，厚生連が補完していた経緯がある。
- 本県には，昭和48年筑波大学が開業するまで医科大学や医学部がなかったため医療施設が少なかったといわれている。

● 事業内容

- 公的病院，準公的病院への助成
- 医療施設近代化施設整備への助成
- 療養環境等施設整備への融資
- 県立病院の整備
- 地域がんセンター，県立こども病院，県立医療大学リハビリテーション病院等専門医療施設の整備

● 今後の方向

- 地域保健医療計画により，全国的に，病床については，規制の状況にある。
- 高齢化社会では，在宅医療，介護保険の創設など，身近なところでの医療の確保が必要である。
- そのためには，各医療圏内での中核病院の確保，かかりつけ医制度の促進及び介護を提供する施設サービスとしての療養型病床群の整備促進が必要である。
- 医療施設，医療費削減は社会問題であり，国として，病床規制の方向にある。 「茨城県の保健医療」より

医療施設数及び病床数の推移（茨城県）

